

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

西比利亞中央部に建設中の大製鐵所

魯國五年計畫の一例 「アイアン・エーヂ」 六六二五號

場所ト西比利亞鐵道の一驛「トムスタ」の南方二百七十哩の「クヅネツスク」(Kuznetsk)の町附近を擇定す、魯國首都「モスコウ」よりは實に二千七百哩の遠距離に在り浦鹽港を去る事二九九〇哩なり原料ト本地方は「アルタイ」山の西北麓を流る「トム」河の流域にして「テルベス」(Telbes)と稱し、帝政時代より久しく製鐵原料の豊富を以て知られ、鐵礦、石炭(蒸汽用該炭用共)石灰石、耐火粘土、珪石等殆んど自給し得べく(マグネサイト、ドロマイトに就ては不明)原料運搬の最長距離僅かに七十五哩と稱せらる

尤も差當り溶鑪作業開始當分の間はウラル山中の「マグニトゴルスク」(Magnitogorsk)より長距離を運搬すと云ふ

設備ト左の如し

- 鉄鐵年額 一、二〇〇、〇〇〇噸
- 該炭爐副産物補集設備完備 四列
- 溶鑪日産平均一〇〇〇噸(?) 四基
- (右溶鑪は四基にて日産三、五〇〇噸と稱す之より計算して年一、二

〇〇、〇〇〇噸は年三四三日の作業日数に相當す即ち五年目一回修繕するものとし平均年作業日数三三五日と見れば一基一日一〇〇〇噸能力と見るを得べし

鋼塊年額 一、四五〇、〇〇〇噸

平爐一五〇噸のもの 一五基

装入は其八〇%迄を熔銑とす

平爐一基の年平均出鋼回数六四四回に相當す

鋼材年額 一、一三〇、〇〇〇噸

分塊、鋼片、軌條、大形、厚板、小形其他の壓延機を設備す

鋼塊量に對する右鋼材量の歩止りは七八%に相當す

中央發電所 九六〇、〇〇〇KW

其他耐火煉瓦工場、^{鑄物工場}機械工場、鍛冶工場、水道ポンプ等一切を完備す

る外人口五万人を收容する一市街を建設す

設備費一米貨にて總計二五〇、〇〇〇、〇〇〇弗邦貨五億圓

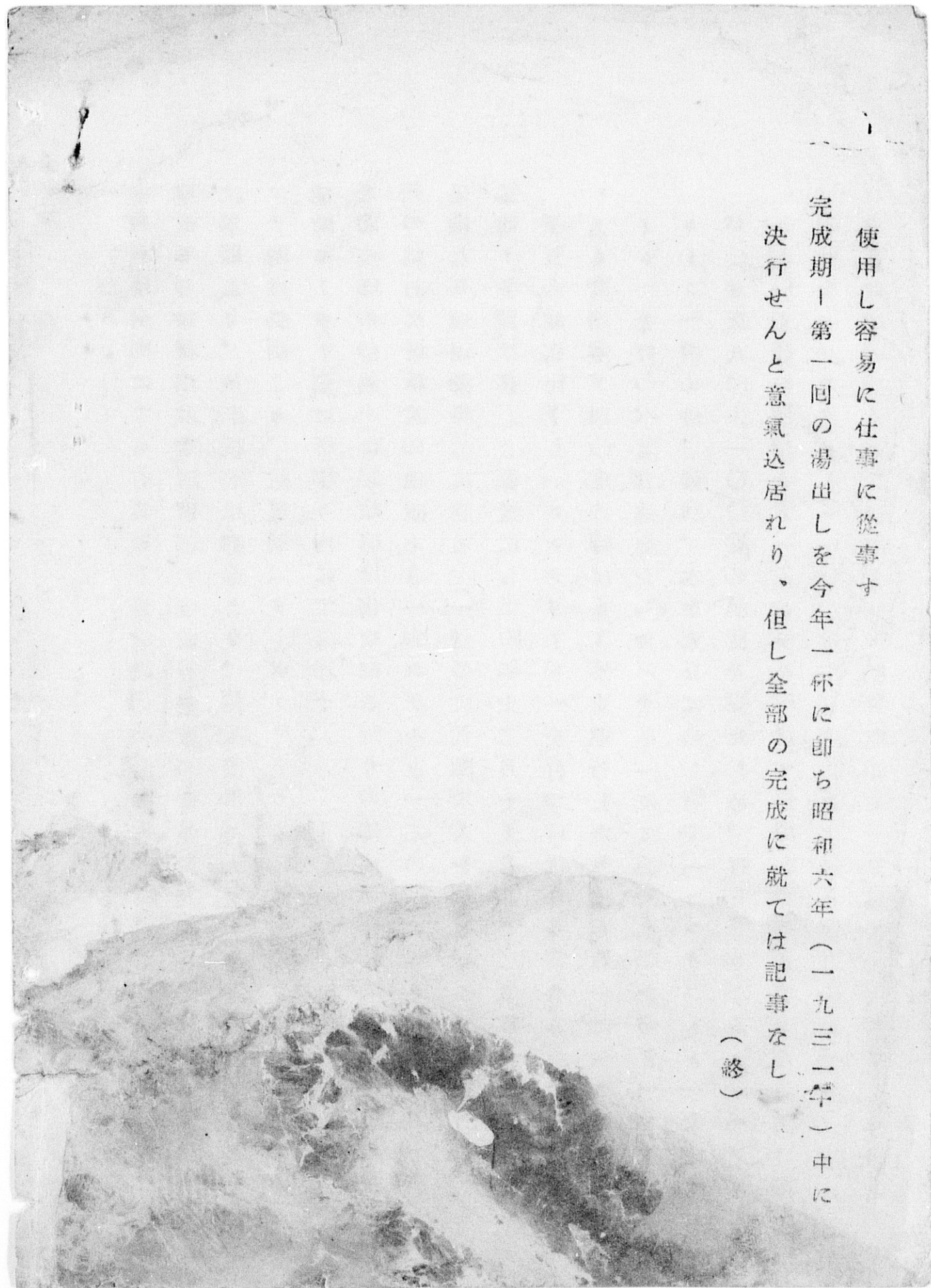
(本設備費は鋼材適當邦貨にて四四三圓強に當り悉しく高價なり)

建設引受會社一米國「シカゴ」市「フレイン」工業會社 (Freyr)

Engineering Co.)

本會社は米國にても有名なる製鐵設備建設の大會社にして組立用の大形厚板等の鋼材類は魯國南部の既成製鐵所の製品を利用し、爐の機械部分は米國より、壓延機類は獨逸より、壓延機用モーター類發電機類スウイツチ類は英獨より、送風機（ターボブローワー）は瑞西より輸入し、尙補助モーター類は魯國々内にて製作す

米國技師の待遇—魯國政府は出來得る限りの待遇をなし米國技師及其家族の爲めに最新式の施設ある一大ホテルと一二の「アパートメント」を提供し其他運動場等に到る迄一切の現代歐米人を満足せる施設を行ふ氣候—冬期は甚しき寒氣にして昨年十二月十五日より二十日の間には零下五六度迄降下し「コンクリート」を打つに當り非常なる困難を感じても實際零下四〇度の時にも工事を遂行したり即ち第一に「コンクリート」を打つべき大地を大「カンテキ」にて温め氷結を防ぎ「コンクリート」用の砂、砂利、水を充分に熱し實際「コンクリート」を流す時は華氏八〇—一〇〇度の温度を保たしめ、打ち終りたる後は「フェルト」を被ひ周圍を大「コンテキ」にて保温し少くも二十八日間は寒暖計を「コンクリート」につけて零度以下に降らざる様にせり寒氣は此の如く甚しきも風無く空氣乾燥せるを以て職工は重き衣服を



使用し容易に仕事に従事す

完成期―第一回の湯出しを今年一杯に即ち昭和六年（一九三一年）中に
決行せんと意氣込居れり、但し全部の完成に就ては記事なし

（終）